

高校『横浜子ども会議』 二つ橋高等特別支援学校

こんにちは。二つ橋高等特別支援学校の生徒会3年執行役員です。よろしくお願いします。

テーマについてのお話の前に、私たちの学校がどんな学校なのか、簡単に説明させていただきます。私たちは卒業してすぐ就職して、社会に出て働くことを目指しています。そのため、学校の教育目標は「働く」「自立」「自己実現」となっており、授業も一般の科目に加えて職業科目があります。

【職業科目について説明】

厳しい社会を生き抜く力が身に付くよう日々努力しています。

さて、ここからはテーマについてです。私たち生徒会では「居心地のよい学校」とは「学校に通っている全ての生徒が平等でいじめがなく仲良く過ごせる学校」と考えました。居心地のよい学校づくりのために本校が実践している取組を4つ紹介します。

1つ目は生徒会が行っている挨拶運動です。これは、私たち生徒会役員が2か月に一度校門のすぐそばに立ち、登校してくる生徒に挨拶をするという活動です。これは挨拶をすることでコミュニケーションが生まれ、さらにそこからお互いに理解していける関係に発展させていくということを目標に行っています。

2つ目の活動は、同じく生徒会が行っている意見箱です。この活動は学校をよくするために学年や所属に関係なく、平等に意見を発言できて、更に学校をよりよくして、誰にとっても居心地の良い学校を作っていこうという活動です。

3つ目は、スポーツデイなどの他学年交流で行う活動です。他学年が共通して活動することで、誰もが仲よく過ごせる環境にすることを目指して、活動をしています。

4つ目は、コミュニケーションです。日々の学校生活全般で自分の気持ちをうまく伝えられるように学習しています。また、他人を傷つけないような「ものの言い方」も授業などを通して学んでいます。

これらの取組を今後も続けていきます。また、今回、この発表をするにあたり本校の『居心地』について考えたところ、特別な取組みの他に『卒業後、就職する・働く』という同じ目標をもった仲間と共に学んでいること、仲間の得意なことや苦手なことを理解したうえで助け合おうとしていることも居心地の良さにつながっていることに気が付きました。今回の気付きを大切に、皆が明るくなれるような「居心地の良い学校」づくりに取り組んでいきます。以上で二つ橋高等特別支援学校の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。